

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



眞鍋芳生展～鬼まんだら～ (1月5日 成羽町美術館)

「眞鍋芳生展～鬼まんだら～」(成羽町美術館主催)が始まり、初日には「亥の土人形の絵付け体験」や「巨大はりこ面への書き(毎週土・日曜日開催)」が行われ、来館した大人や子どもたちは、個性豊かな作品を完成させていました。

また、館内には鬼をテーマにした面や人形が飾られ、来場者を楽しませています。

※展覧会は2月4日(日)まで。着物で来場の方は入場無料

サンタさん ありがとう (12月15日 有漢生涯学習センター)

子育て支援事業の一環として年3回「親子ふれあい教室」(有漢地域局住民福祉課主催)を開催しており、12月は、クリスマス会を行いました。

4歳以下の乳幼児とその保護者、愛育委員など45人が参加。講師の指導のもと、クリスマスツリーの制作や親子遊びを通じて交流を図りました。

子どもたちは、栄養士や栄養委員が作った蒸しパンのおやつや、サンタクロースからのプレゼントを受け取り、楽しいひと時を過ごしていました。



大盛況ニコニコ市場 (12月12日 元市民会館)

歳末を彩る恒例行事となった、第3回「高梁ニコニコ市場」(同実行委員会主催)が開かれました。市内の婦人会や生活交流グループなど10団体が出店。

会場には、お飾りやもち、新鮮野菜、加工食品などがずらりと並び、正月用品を買い求める多くの人でにぎわいました。

認知症を正しく理解しよう (12月10日 備中総合センター)

認知症高齢者の支援体制充実に向け「認知症研修会」(備中地域局住民福祉課等主催)が行われました。

県老人認知症センター長の砂田芳秀・川崎医科大学教授が「認知症を正しく理解しよう」と題して講演。また、地域住民による認知症介護を題材とした創作劇の上演もあり、参加者たちは認知症についての理解を深めました。





冬の夜を彩るイルミネーション (12月16日 マンガ絵ぶた公園)

6回目を迎える「冬絵ぶたイルミネーション」(備北商工会川上支所主催)の点灯式が行われ、子どもたちがエレクトーン演奏やリズム体操を披露しました。

公園には、雪だるまやディズニーキャラクター、干支のイノシシ親子など10基の冬絵ぶたが並び、訪れる人々を楽しませていました。点灯は1月下旬まで。

皆さんも気軽にウォーキングを (12月22日 総合文化会館)

テレビでおなじみのデューク更家さんを迎えて、第5回高梁市文化講演会「デューク更家プロデュースWalking Exercise (ウォーキング エクスサイズ)」が開かれました。

楽しく意識ある歩き方を身につけることにより、健康的で美しい肉体や心を手に入れることができるなどといった、簡単にできる独特のウォーキングスタイルを紹介。軽快なおしゃべりで会場の皆さんも一緒に楽しく体を動かしました。



夜間の事故を防ごう (12月20日 市内大型店舗)

年末年始の交通事故防止県民運動(12月1日～1月8日)に合わせ、街頭啓発活動「夜は目だたナイトキャンペーン」(市交通安全対策協議会主催)が行われました。

参加した交通安全母の会や交通警察協助手ら約20人は、買い物に訪れた主婦らに啓発グッズを配布し、早めのライト点灯や夜光たすきや反射材を付けて出歩くよう呼びかけていました。

美しい町にしよう (12月6日 川上町仁賀地内)

川上町環境衛生協議会の主催で、不法に投棄されたゴミの処理作業が行われました。

「わが町を美しく」の思いを胸に地域住民24人も参加し、重機を使用しての大掛かりな回収作業は約6時間に及びました。

回収したゴミの総量は4トトラック4台と2トトラック2台分。冷蔵庫、テレビ、洗濯機などの電化製品や自転車までもが捨てられていました。



今月の 表紙

未来へ羽ばたく ～歌声にのせて～

1月7日、総合文化会館で「平成19年成人祝賀式」が開かれ、新成人319人が出席し、人生の節目の日に大人への責任と自覚を誓いました。

式典後は、実行委員会(各中学校区の新成人男女代表者14人で組織)の企画による記念行事として、全員参加のクイズ大会などが行われました。高梁少年少女合唱団からの歌声のプレゼントでは、最後に新成人も加わって実行委員選曲の「空も飛べるはず」を全員で合唱。

新成人たちは、久々に再会した友人と記念写真を撮り合うなど、楽しいひと時を過ごしていました。なお、このたび成人を迎える市内住民登録者は464人です。